

いま、未来の扉を開けるとき



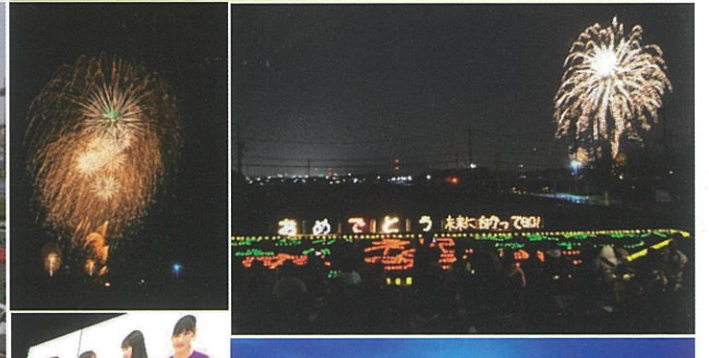
Believe

～東近江はひとつ～ 大花火大会 3月27日 (関連記事 2頁、8頁)



「東近江はひとつ、子どもたちに夢を」を合言葉に、ももいろクローゼットの皆さんのカウントダウンにより市内7地区で一斉に打ち上げられた花火。永源寺会場からは、愛東、湖東、五箇荘、能登川の花火も一望でき感動の20分間でした。卒園児や卒業生を迎えるために、永源寺会場では商工会、PTA、ライオンズクラブ、民生委員児童委員、まち協などの皆さんが協力して会場を設営されました。

2020-2021 Memorial ひがしおうみ 大花火大会 東近江はひとつ～子どもたちに夢を!



編・集・後・記 「青い山脈」「三百六十五歩のマーチ」「見上げてごらん夜の星を」。昭和歌謡、フォークソング、童謡、唱歌など様々なジャンルを歌をキーボードとギターとの生伴奏によって、みんなで一緒に楽しく歌う永源寺高野町の歌声喫茶。2018年9月から毎月1回、介護老人福祉施設もみじさんを会場に開催され、地域の皆さんと施設利用者の皆さんの大きな歌声が響き渡り、多い時にはフロアーが50人ほどになることもありました。その歌声喫茶が軌道に乗りにかけてきた頃、コロナによる緊急事態宣言で休止を余儀なくされ、2020年は一度も開催されませんでした。歌声喫茶常連の方は「コロナが早く収まればいいのになあ。またみんなで一緒に歌いたいわあ」と再開を待ち望んでおられます。参加者の方は、一人暮らし、高齢者だけの世帯、昼間は家に一人だけのひと様々です。家に閉じこもったままで一日中誰とも会話をしない人もおられると聞きます。そうした人たちが孤立しないよう集まれる場所の一つとして歌声喫茶が開催されています。サロンやグラウンドゴルフ、ウォーキングもその一つで、みんなとおしゃべりをしたり、人と触れ合ったりすることによって元気になり、人とのつながりが健康にも大きな影響を与えてくれるものと思います。これは歌声喫茶のスタッフにも言えることで、月に歌う選曲から練習を経て当日会場の設営に至るまで参加者の笑顔がパワーの源になっています。お互いさまということでしょうか。コロナ禍で人と会うこと、つながることが阻まれ一年が過ぎた今、自分たちに最適な方法を見出して行動することも大切です。当然のことですが、マスクをし、ソーシャルディスタンスを保ち、思い切って会場を屋外に移動するのも一つの方法かもしれません。(F)

こんにちは 保健師 です ⑥

どうしたら下がるの？ 血圧は！

(永源寺地域の健康課題の一つは高血圧です)

塩分の摂り過ぎが高血圧の要因になり、高血圧の予防や治療に食塩制限が重要です。何から始めたらいいかわからない人も、減塩食は美味しくないと思っている人も、一度減塩に挑戦してみませんか。簡単に出来ることから始めてみましょう。

【ナトリウム(食塩相当量)目標量(日本人の食事摂取基準 2020年版)】

- ◆男性 7.5g/日未満
- ◆女性 6.5g/日未満
- ◆高血圧及び慢性腎臓病の重症化予防のための食塩相当量の量は男女とも 6.0g/日未満

①塩分量を知る

普段食べている食品や調味料に塩分がどれだけ含まれているかを知ることは、減塩のための第一歩です。食品成分表示をみてナトリウム量での表示の場合は以下の計算で食塩相当量がわかりますが、最近食塩相当量で記載されているものが多くみられます。

【食塩相当量=ナトリウム量×2.54】

②減塩食品の活用

調味料や加工品、菓子類など、さまざまな分野で減塩食品は開発されています。味も従来品と変わらず美味しくいただけます。無理なく減塩するためにおすすめです。

③ごはん食のすすめ

白米の塩分は0gです。パンや麺類には食塩が含まれています。白米0g 食パン(6枚切り)0.8g 干しうどん(1束 茹で)1.2g

④汁物や麺類の汁は残す

みそ汁などは1杯あたり 1~2g うどんやラーメンの汁には3~6gの塩分が含まれています。

⑤野菜摂取で食塩を排泄

【(注)腎臓が悪い方は主治医に相談してください。】

野菜や果物、海藻に多く含まれるカリウムはナトリウム(塩分)の排泄を促します。食事には必ず野菜料理を加え、カリウム摂取を心掛けましょう。

次号も減塩のためにできる工夫について紹介します。

新しい、まちのお巡りさん

今年度から、政所駐在所に赴任してまいりました。木村祐介(きむら ゆうすけ)です。

平成27年度は能登川駅前交番で勤務しており、その後、日野の機動警察隊、米原署と勤務して5年ぶりに東近江警察署に戻ってきました。

地域のお巡りさんとしての勤務は5年ぶり、毎日緊張しております。

まだ赴任してきて僅かですが、地域の方々の温かさに本当に救われております。

まだまだ若輩者ですが、この永源寺地区の安全と景観を守っていただけるように一生懸命勤務させていただきますので、どうか温かい目で見守っていただきますよう、よろしくお願いします。



乗って残そう、ちょこっとバス 政所線のバスが新しくなりました



地域住民の重要な移動手段である「ちょこっとバス」。利用者の安全性の確保と安定した運行を図るため、このたび政所線の車両が新しくなりました。

地域の皆さまには、買い物など外出の機会に、ぜひご利用いただき、永源寺地区の身近なコミュニティバス政所線を守っていきましょう。

なお、4月1日から、16時8分永源寺支所発、相谷停まりの便が増便されます。ただし、デマンド運行で予約時のみの運行となります。

まちの話題



卒業記念にエイゲンジザクラを植樹 ゆめ咲良会が企画



桜の日(3×9)の3月27日、今年卒業した永源寺中、山上小、市原小の代表11人が永源寺境内にエイゲンジザクラを植樹されました。これはこのザクラを東近江市の各地に広げる活動に取り組んでいるゆめ咲良会が企画されたもので、参加した卒業生は土と肥料をかぶせ、最後の仕上げをされました。

また、同会の野田清久代表から、エイゲンジザクラは、カワツザクラ(静岡県)、クマノザクラ(和歌山県)とともに日本に3種類しかない地名の付いたザクラとの話を聞き、卒業生が誇りを持って語れるように、またこの年の卒業生が何年か後に保護者と植樹したことを思い出し、他の卒業生と共にここを訪れてほしいと話されていました。

まちづくりの団体が課題を共有 「永源寺みらい会議」が発足



永源寺地区内でまちづくりに取り組む様々な組織や団体が横のつながりを深め、お互いに協力し合うことを目的に、まちづくり協議会や福祉の会、住めば都プラン推進会議が中心となり、「永源寺みらい会議」が発足しました。

2月26日にコミュニティセンターで開かれた第1回の会議には、21団体から約40人が参加。本会議設立の経緯や趣旨説明が行われた後、5グループに分かれて各団体の活動内容や課題について情報を交換しました。組織の高齢化や団員の減少、また活動のマンネリ化などの課題が複数の団体から出されました。今後は地域の現状や課題を共有し、一体となった地域のまちづくりが進められるよう話し合いを重ねることを確認し、会議を終えました。

未来を照らすひかりの共演 市内7地区で一斉に大花火大会



3月27日、東近江大花火大会が市内一斉に行われました。永源寺地区では、今年卒業した園児、小学生、中学生、ラチーノ学院生徒を永源寺グラウンド駐車場の会場に招待してイベントが開催されました。会場ではイルミネーションで、「おめでとう 未来に」と描かれたメッセージボードが掲げられたほか、赤色と緑色の灯籠が並べられ、幻想的な雰囲気を醸し出していました。

市内7カ所から一斉に花火が打ち上げられ、卒業生たちは、きれいに並べられた灯籠と、大輪の花火のコラボに歓声をあげながら見入っていました。コロナ禍で大変だった一年を頑張ってきた卒業生の皆さんにとって思い出に残るイベントになったのではないのでしょうか。

春を探しに、甲津畑へ 可憐なセツブンソウを発見



2月20日、第3回地域再発見講座で、甲津畑町へ出かけました。前日までに降った雪が残る中、「春を探しに」をテーマに、参加者13人で自治会内を講師の堤信二さんの説明を聞きながら散策しました。ロウバイやツバキのほか、お目当てのセツブンソウの可憐な花を見ることができました。

この地域は絶滅危機増大種であるセツブンソウが生息する極めて重要な区域であり、その生育に適した環境が保たれていることから「ふるさと滋賀の野生動植物との共生に関する条例」に基づき、保護区に指定されています。この時期メディアの情報を聞き、市内外から来訪される観光スポットです。貴重な植物を大切に守っていききたいものです。

Cafe Alluboccio カフェアルボッチョ



頑張りすぎない元気ご飯のカフェアルボッチョです☆

低オイル、乳製品不使用お菓子や、ご飯テイクアウト650yen~各種有ります。

滋賀県東近江市山上町 3647-4 TEL:050-5802-9808

Open11:00~18:00(L017:00) ランチは15:00まで 定休日:火曜/不定休有り

HP <https://alluboccio.wixsite.com/allu-boccio>



クローズアップ☆

輝かしい記録と記憶はいつまでも… 永源寺中ソフトボール部の活動に幕

伝統は継承であり、より高所へその価値を上げることである。しかしながら、その継承すべき担い手がなくなれば、どうだろうか。

その歴史は、青野中学校時代から数えて70年に及ぼうとする。永源寺中学校ソフトボール部が、今やその時を迎えようとしている。数々の輝かしい栄光に包まれし歴代の部員たち、努力とチームワークで手にしたものは、それぞれにかけがえのないものである。

令和3年度、6人のラストプリンセスたちが最後の大会に挑



ソフトボール部の最後の部員

みます。昨年夏から聖徳中学校との合同チームとして秋の大会に臨み県大会へ出場しました。新年度も合同チームとして春の大会に挑んでいます。

人口の減少や少子化により生徒数が少なくなり、令和元年度にはバレーボール部が、本年にはソフトボール部とソフトテニス男子部も休部となります。両部の部員たちには、最後の年の大会を悔いのない楽しみながらも心にしっかりと記憶に残る大会としてもらいたく強く思う次第です。

10代の子の恩師は、誰もが忘れることのできないほど印象強く心に残っているものです。創部以来、ご指導いただいた数多くの先生方や関係者の方々は、心より厚くお礼申し上げます。また、この記事を投稿するに当たり、貴重な資料やお話しをお伺いしました先輩の皆さまにも厚くお礼申し上げます。

永源寺地区の皆さんやソフトボール部、ソフトテニス部のOB、OGの皆さん、伝統の継承は一時途切れますが、彼女たちの心の中に伝統は生き続けていくことと思います。最後の大会、



当時の広報えいげんじ

ソフトボール部の輝かしい成績

昭和45年	近畿大会出場優勝
昭和46年	近畿大会出場
昭和47年	近畿大会出場
昭和49年	近畿大会出場
昭和51年	近畿大会出場優勝
昭和52年	近畿大会出場(雨天中止)
昭和53年	近畿大会出場優勝
平成6年	県大会3位 西日本大会出場
平成7年	三県大会優勝
平成10年	西日本大会出場

皆さまのご声援をよろしくお願
いします。(山上町 幸野武彦さ
んから情報提供)

永源寺もみじ幼児園 園歌・園章決まる

川上律子さん(政所町)が作詞

東近江市立
永源寺もみじ幼児園 園歌
作詞 川上 律子
作曲 桜 さゆり

一 おひさまキラキラ 青い空
はつばの緑も かがやいて
鈴鹿の山も 光ってる
ほくたち輝く もみじっ子
みんな 仲良く かけてこう
永源寺もみじ幼児園

二 雨がパラパラ たいこをたたき
風もそよそよ やさしく吹いて
鈴鹿の山も うたってる
わたしたち 仲良く もみじっ子
みんな 元気に うたおうよ
永源寺もみじ幼児園

三 夕やけ色の もみじのはっぱ
みんなのほっぺも あかね色
鈴鹿の山も そまってる
未来には ばたく もみじっ子
みんな 仲良く 手をつなごう
永源寺もみじ幼児園



木野田博彦さん(埼玉県)の作品。「もみじの葉を図案化し、子どもたちが親しみが持てるように擬人化して描きました」

永源寺もみじ幼児園の園歌・園章が決まりました。園歌(詞の部)21作品、(曲の部)27作品、園章21作品の応募があり、(詞の部)は、政所町の川上律子さんの作品に決定しました。

川上さんは、学生の頃から文章を書く事が好きで、小説や童話などを書き続け、24歳の時に小説を出版されたそうです。

今回、地元の幼児園が園歌を募集していると知り、永源寺の豊かな自然の移ろいを歌詞にしたいと応募されました。川上さんは「緑豊かな、どこかで水の音が聞こえる様な鈴鹿の山の心

もとの、元気いっぱい純真なままの子どもたちの姿をイメージしながら、元気で大きくなってほしいとの思いを込めて作りました」と笑顔で話されました。

同幼児園で開かれた園歌・園章のお披露目会で、かわいい園児たちが園歌を歌う姿を目の当たりにして、あらためて「作詞して良かった」と感動したそうです。いつまでも歌い継いでほしいです。



豊かな自然の移ろいを歌詞にしたいと応募。園の歌に採用された川上律子さん



園歌・園章のお披露目の会で元気よく園の歌を歌う園児(2月6日)

国道421号

**交通難所、またひとつ解消
佐目の中尾谷橋、供用開始**

橋梁が完成して供用開始が待ち望まれていた佐目町地先の中尾谷橋が2月中旬から通行できるようになりました。

中尾谷橋は、幅員8.5メートル、長さ110メートル。狭隘(きょうあい)な力一P区間であった旧道を60メートル短縮して通行できます。

資料提供：市広域事業推進課

かどや

会席料理・仕出し・お食事処

気軽におうどん・おそば・おすしを。
ちょっと改まって会席料理を。
また、法事用料理・お弁当・仕出し料理など承っております。
料理内容・ご予算など、ご相談に応じさせていただきます。

営業時間 11:30~13:30 17:00~21:00
定休日 毎週水曜日(祝祭日を除く)
滋賀県東近江市山上町2069-1
TEL 0748-27-0021 FAX 0748-27-0003

道路整備と公共交通をテーマに

永源寺地区まちづくりフォーラム

永源寺地域の誇れるところ、こうなったら良いなと思うことなど、素直なディスカッションを通して、暮らしやすい地域づくりを考える「まちづくりフォーラム」が、2月20日、永源寺コミュニティセンターで行われました。

関係団体が課題を共有

「まちづくりフォーラム」は、まちづくり協議会とコミュニティセンター、自治会連合会が、ともに地域の課題を共有して、課題解決に向けて住民自らも暮らしやすい地域づくりを考えていただくきっかけをつくらうと企画され、このたび初めて開催されました。



フォーラムには、自治会長をはじめ85人が参加され、コロナ感染症対策に配慮しながら進められました。



3選を果たされた小椋市長も参加

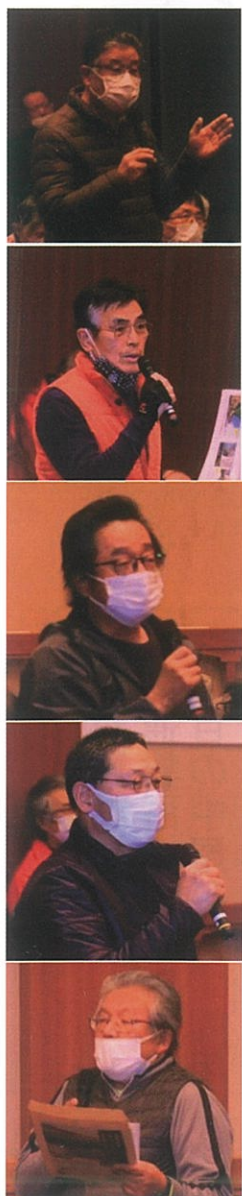
さんで前向きに議論を深めていただきたい」との講評をいただきました。

フォーラムを終えて企画会議では、「毎年テーマを変えて開催して欲しいとの声も多くありました。行政に任せるだけでなく、自分たちでできることを考えていく、そんなきっかけが芽生えれば」と、次回の開催に向けて早くも動き出されました。

国・県・市から情報提供

当日は、道路整備と公共交通をテーマに、

- ① 国道421号の整備計画
 - ② ラウンドアバウト交差点計画
 - ③ 自動運転システムの展望
 - ④ コミュニティバス再編計画
- の4つの事業について、国や



今回のテーマは、意識調査で高齢者の交通手段の確保が課題の最優先に挙げられたことや、着々と進む道路整備の現状と今後を知りたいなどの意見があり、「道路整備と公共交通ビジョン」に決定されました。

参加者からは、幹線道路が整備されるにつれ生活道路への通行が増し危険である。ラウンドアバウトに戸惑う人もあるので周知の徹底を。高齢者の安全で健康な暮らしを守るために自動運転や公共交通に期待している。などの意見が寄せられました。



情報提供をいただいたプレゼンターの皆さん

SS1

国道421号の整備計画

【滋賀県東近江土木事務所道路計画課 立岡敏和係長】
国道421号の整備は、滋賀県道路整備アクションプログラムに位置づけられた事業です。

県境の石樽トンネルは、国の直轄事業として、また、神崎橋から石樽トンネルまでの2800メートルを県で施工し、平成23年に完成しました。

現在、集中的に施工しているダム湖周辺の道路については、平成28年に佐目子谷橋が完成し、このたび橋梁が完成した中尾谷橋について、地元の声を受けて2月中旬から供用を開始

今後の予定



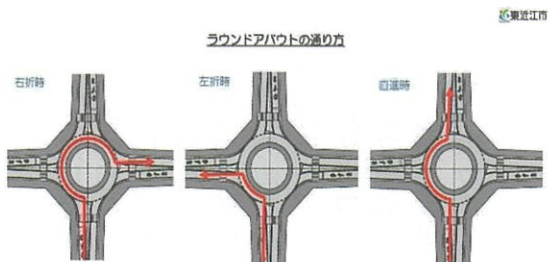
SS2

ラウンドアバウト交差点計画

【東近江市都市整備部 藤田明男管理監】
平成26年度から進めてきた市道山上一二俣線の改良工事は全900メートルの内、県道との交差点を残すのみとなりました。その交差点に設置を予定しているのがラウンドアバウト（環状交差点）です。

全国的にもラウンドアバウトの導入が進んでいるため、平成26年に道路交通法が改正されました。その特徴は、①環道を走行している車両が優先、②時計回りで通行、③信号での停止と発進の指示はない、です。

この交差点は、車と車が交錯する点が少なくなり事故の機会が減少する、通過速度が低下するため重大事故が減少するなどの長所があります。一方で、進行方向がわかりづらい、



歩行者の横断距離や移動距離が長くなるなどの短所もあります。

令和4年3月の完成を目指しています。事業完了まで引き続きご協力をお願いします。

SS3

自動運転システムの展望

【国土交通省近畿地方整備局 滋賀国道事務所 東岡正樹副所長】
国土交通省では、全国18箇所で道の駅を拠点とした自動運転サービスの実証実験を行っています。

奥永源寺地域もそのひとつで、平成29年に5日間の短期実験、令和元年に36日間の長期実証実験を行いました。そして今年、実用化に向けた社会実装を行います。ルート

は、長期実験と同様、道の駅と黄和町、紅葉尾町を結び往復4.4キロメートルの区間で、6人乗りのカートタイプ車両を用います。運行は、水・金・土・日の週4日で、交通事業者や地元と連携した運行体制の構築を目指します。料金も1回150円を徴収します。将来は、ちょっとしたバスとの使い分けで、高齢者の移動手段の確保と、移動の負担軽減が実現できればと思っています。



SS4

コミュニティバス再編計画

【東近江市都市整備部公共交通政策課 山本享志課長】
公共交通は、マイカーと同等のサービスを求めると「不便」というイメージがつきも



のです。しかし、公共交通は人のカラダに例えれば、血液のような大切なもので、巡りが良くないと、まちの健康にも支障がでできます。

ちよこつとバス・タクシーの年間運行経費は約2億円で、料金収入は2割弱です。単純に計算すれば、全市民に年5回乗っていただく料収入だけで運行できることになりました。これはあくまでも数値目標。赤字だから×、黒字だから○のようなビジネスの発想ではなく、福祉インフラとして捉える必要があると思っています。

今年、第5次の再編計画を策定していきます。移動手段が必要な人は確実に増えます。将来も交通空白地をつくらないを基本に、みんなで乗って、守り、育てていく仕組み作りも考えていきたいと思っています。